

## The Connoisseur's Eye: Art Appraisal in the Edo Period

きわ  
極める！江戸の鑑定

令和5年(2023) 6月3日(土)～7月17日(月)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

美術品の真贋や価値を評価する「鑑定」には、画題や製作地・製作者などを見極める専門的な知識が必要とされます。江戸時代には、刀剣の本阿弥家をはじめ、刀装具の後藤家、書蹟の古筆家、絵師の狩野家・住吉家、茶道の各宗匠によって、それぞれの分野の鑑定が行われていました。

本展では、鑑定の対象となった作品と、鑑定結果を示す折紙・極札・箱書などから、科学分析用の機材や記録用の鮮明な写真すらなかった時代に行われた鑑定の様相に迫ります。

[凡例]・A:6/3(土)～6/28(水) B:6/29(木)～7/17(月)

- 指定の◎は重要文化財を示します。
- 都合により出品作品が変更となる場合がございます。
- 展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- 時代・世紀は、展示作品のみを表記し、推定を含みます。
- 期間の※は会期中の幅替・頁替などを示します。

No. 指定	作品名・筆者	所有者・寄贈者等	時代・世紀	所蔵先	期間
<b>一 鑑定のおこり</b>					
1	古書品録 謝赫撰 毛晋訂 (「津逮秘書」の内)	徳川光友(尾張家2代)・綱誠(同3代)蔵書	明 崇禎3年(1630)	蓬左文庫	
2	書品論 庾肩吾撰 (「津逮秘書」の内)	徳川光友(尾張家2代)・綱誠(同3代)蔵書	明 崇禎3年(1630)	蓬左文庫	
3	竹取物語		江戸 17	蓬左文庫	
4	満濟准后日記 十八冊の内		江戸 18	蓬左文庫	
5	山上宗二記 山上宗二著 (「茶道聞書」の内)		江戸 寛延2年(1749)	個人蔵	
6	槐記 近衛家熙述 山科道安記 八冊の内		江戸-明治 19-20	個人蔵	
7	本朝軍器考 新井白石著		江戸 元文5年(1740)	徳川美術館	
<b>二 作者を極める！</b>					
8	御懸物筆者名 (「翰書礼要集追加」の内)		江戸 18-19	蓬左文庫	
9	和漢印尽 三冊の内		江戸 17	個人蔵	
10	畫工印章辨玉集 (「辨玉集」五冊の内)		江戸 寛文12年(1672)	徳川美術館	
11	梅竹図 伝可翁筆 三幅対の内 附 狩野探幽外題・狩野安信外題	松平義真(梁川松平家3代)所用	南北朝-室町 14-15 江戸 17	徳川美術館	※
12	本朝畫史・本朝畫印 狩野永納撰 五冊の内		明治37年(1904)	個人蔵	
13	元明清畫画人名録 彭城百川編 高芙蓉ほか補訂		江戸 安永6年(1777)	個人蔵	
14	日本書畫評價一覧		大正11年(1922)	個人蔵	
15	狩野常信家歴代畫印		大正-昭和 20	個人蔵	
16	住吉印譜		大正-昭和 20	個人蔵	
17	長澤累世遺印譜		明治-大正 19-20	個人蔵	
18	遠州侯印譜 土橋嘉兵衛編		昭和5年(1930)	個人蔵	
19	源氏物語拔書 早蕨 尊円法親王筆 尊朝法親王奥書		南北朝 14	徳川美術館	A
20	源氏物語拔書 賢木 伝後光厳天皇筆 近衛信尹奥書		鎌倉 14	徳川美術館	B
21	古筆手鑑「蓬左」 中殿御会図 伝藤原為氏筆		江戸 17	徳川美術館	※
22	附 二代畠山牛庵極札・正筆書 住吉廣定折紙 文政十三庚寅年六月		室町 16 江戸 17 江戸 文政13年(1830)	徳川美術館	B
23	木綿手襪 細川幽齋筆 附 古筆了佐書状 中村春齋宛		桃山-江戸 16-17 江戸 17	徳川美術館	A
24	古筆了佐書状 吸斎(寺西是成)宛 無神月廿日 烏丸光廣添状 寛永四年仲秋 (藤原定家自筆書状「山門状」附属)		江戸 元和8年(1622) 江戸 寛永4年(1627)	徳川美術館	
25	拾遺集切「壬生忠岑 春たつと」 伝藤原定家筆 附 古筆了任書状 宛先未詳 十二月十八日 古筆了任書状 村井脇口宛 十二月廿一日 古筆了任極札		鎌倉 13 江戸 17 江戸 17 江戸 17	徳川美術館	A
26	和歌懷紙「砌橋」 正徹筆 附 古筆了延書状 山本道傳宛 二月八日 古筆了意書状 山本道傳宛 十月廿五日		室町 15 江戸 18 江戸 19	徳川美術館	B

No. 指定	作品名・筆者	所用者・寄贈者等	時代・世紀	所蔵先	期間
27	古筆類葉集 古筆了延撰		江戸 18	蓬左文庫	
28	補正古筆了伴先生得許可及上木 和漢書畫古筆鑑定家印譜 古筆了悦編		明治26年(1893)	蓬左文庫	
29	◎ 刀 無銘 郷義弘 名物 五月雨郷	黒田長政・徳川秀忠(2代将軍)ほか所持	鎌倉 14	徳川美術館	
30	刀 無銘 兼光 附 本阿弥光室折紙 元和七年六月三日	徳川宗勝(尾張家8代)所持	南北朝 14 江戸 元和7年(1621)	徳川美術館	
31	刀 金象嵌銘 延寿国資 本阿(花押) 附 本阿弥光忠折紙 享保四年亥六月三日	徳川吉宗(8代将軍)・徳川宗春(尾張家7代)所持	南北朝 14 江戸 享保4年(1719)	徳川美術館	
<b>三 分類を極める!</b>					
32	君台観左右帳記断簡 伝小堀宗中筆		江戸 19	個人蔵	
33	茶入之次第 伝小堀遠州筆		江戸 17	徳川美術館	
34	茶器辨玉集(「辨玉集」五冊の内)		江戸 寛文12年(1672)	徳川美術館	
35	古今名物類聚 松平不昧編 十八冊の内		江戸 寛政元-9年 (1789-97)	徳川美術館	
36	瀬戸窯分		江戸 嘉永6年(1853)	個人蔵	
37	瀬戸肩衝茶入 銘 虫喰藤四郎		室町 16	徳川美術館	
38	唐物茶入 歌銘 養老	精中宗室(玄々斎・裏千家11代)箱書	元 14	徳川美術館	
39	唐物胴高茶入 銘 清光 附 小堀宗中書状 五月廿一日	小堀宗中(遠州流8世)箱書	明 15-16 江戸 天保11年(1840)	徳川美術館	
40	松尾宗五目利之節御道具下帳 明和四年亥十一月		江戸 明和4年(1767)	徳川美術館	
41	二人静金襴 附 松尾宗五書状 明和四年亥十一月		明 14 江戸 明和4年(1767)	徳川美術館 ※	
42	井戸四方鉢		朝鮮王朝 16-17	徳川美術館	
43	伏見屋宗振極状 (狩野元信・伝正信筆「布袋・花鳥図」三幅対 附属)		江戸 寛政11年(1799) 室町-江戸 16-17	徳川美術館	
<b>四 品質を極める!</b>					
44	小サ刀 無銘 国俊 附 書付	伝徳川宗睦(尾張家9代)所持	室町 15 江戸 18-19	徳川美術館	
45	千利休竹茶杓 附 不及斎宗也書状 宛先未詳 三月十一日	良休宗佐(随流斎・表千家5代)追筒・不及斎宗也 (久田家4代)ほか箱書 大徳寺三玄院伝来	桃山 16 江戸 17	徳川美術館	
46	千宗旦竹茶杓 銘 二人静	仙叟宗室(裏千家4代)・又玄斎一燈宗室(同8代) ・玄々斎精中宗室(同11代)箱書	江戸 17	徳川美術館	
47	今泉雄作什器鑑定目録 明治四十四年八月		明治44年(1911)	徳川美術館	
48	徳川美術館什宝台帳		大正-令和 20-21	徳川美術館	
<b>五 値段を極める!</b>					
49	短刀 銘 吉光 附 本阿弥光忠折紙 元禄拾年丑八月三日	徳川綱吉(5代将軍)・徳川綱誠(尾張家3代)所持	鎌倉 13 江戸 元禄10年(1697)	徳川美術館	
50	堆朱楊成折紙 貞享四年卯六月廿五日 堆朱楊成書状 圓観子宛 貞享四年卯六月廿五日	柴田家寄贈	江戸 貞享4年(1687)	徳川美術館	
51	玳瑁天目 附 石井常知吟味札 宝暦四年五月十日		南宋 12-13 江戸 宝暦4年(1754)	徳川美術館	
52	黒漆塗四方盆 附 石井常知吟味札 宝暦四年五月十日		室町 16 江戸 宝暦4年(1754)	徳川美術館	
53	古染付栗鼠文鉢		明 17	徳川美術館	
54	九曜星渦卷文鉢		明 16-17	徳川美術館	
<b>六 窮まる鑑定</b>					
55	黒樂茶碗 銘 横槌 伝樂二代目長次郎作	天然宗左(如心斎・表千家7代)箱書	桃山-江戸 16-17	徳川美術館	
56	馬図 三幅対の内 伝雪舟等楊筆 楼閣山水図 伝狩野元信筆	志水忠継・徳川綱誠(尾張家3代)所用 津軽家伝来	江戸 17 江戸 18-19	徳川美術館 ※	
57	附 狩野栄信折紙 辰ノ七月四日 大倉好斎折紙 庚午中春上浣		江戸 19 江戸 19	徳川美術館 B	
58	桐に鳳凰図 伝呂紀筆 三幅対の内		江戸 17-18	徳川美術館 A	
59	織田信長書状 佐々木近江守宛 五月廿一日(「近江六角氏伝来古状貼込帳」の内)		江戸 18-19	徳川美術館	
60	増訂古画備考 朝岡興禎撰 太田謹増訂 十八冊の内		明治37年(1904)	個人蔵	
61	春峰庵什襲浮世絵並某家所蔵品展覧入札図録 富田家寄贈		昭和9年(1934)	徳川美術館	
62	科學的方法に據る書畫の鑑定と登録 狩野亨吉著(「狩野亨吉遺文集」の内)		昭和33年(1958)	徳川美術館	